

(3) 触れる油彩

- A 小中学生とその保護者を主対象とする一般来館者
- B 「こどものための三岸好太郎展」会期中（平成 29 年 7 月 1 日～8 月 27 日）
- C 展示作品の一部を構成したため、未集計
- D 三岸好太郎の油彩画には、パレットナイフで塗り重ね削った特徴あるマチエールの作品が多い。それらは視覚を通して触覚を刺激するが、実物の絵に鑑賞者を触れさせることは困難である。そこで、触れてもよい油彩画を、現在札幌を拠点に活動中の画家・西田陽二の助力を得て用意した。触れる油彩とともに、もとになった三岸好太郎の油彩画《貝殻と蝶》（1934 年）、西田陽二がモチーフに使用した貝殻、油絵具、筆、パレットナイフ、パレット等を展示し、あわせて制作過程の連続写真をモニターで上映して、鑑賞者の理解を深める工夫を加えた。

(左上) パレットナイフによる表現

(右上) 三岸好太郎作品の模写



(左下) 筆による平滑なマチエール

(右下) 貝殻粉を混ぜた日本画風の質感表現



会場の様子



触れる油彩の鑑賞